

■ハザードマップを使って・・・

① 住んでいる地域の危険性を確認

▶ハザードマップは、国や県のシミュレーションの結果を地図に示したものです。色分けされた被害の想定範囲や危険箇所を確認しましょう。

＜条件設定や内容＞

- ・洪水・土砂：100～150年に1回程度の大雨で、堤防が複数決壊（決壊箇所は不明）
- ・津波：南海トラフ地震発生時の津波で、堤防が全て決壊
- ・高潮：平成16年台風第16号の規模に基づく想定で、堤防は決壊なし
- ・浸水の深さ：地面の高さ（地盤高）からの数値

▶ただし、被害の想定は予想を超える場合も、逆に小さい場合もあります。また、ハザードマップには、宅地の造成状況や新設の道路といった最新の情報が反映されていない場合があります。それらも踏まえてご活用ください。

▶シミュレーションの詳細、堤防の状況、河川・用水路の水位調整、掲載施設の内容、隣接市町のハザード情報など、当室以外の機関が取り扱う内容については、お答えできない場合があります。

② 避難先を確認

▶自宅が危険な場合は、岡山市が開設する避難場所の他、知人・親戚宅、宿泊施設など、避難先とその避難経路を確認しておきましょう。

▶自宅が安全な場合は、飲料水や食料を最低**3日分備蓄**しておき、自宅で避難生活を送る在宅避難や建物上階へ垂直避難しましょう。

▶津波の場合は、30cmの浸水で身動きが取れなくなると言われています。できるだけ浸水の想定がない場所へ避難しましょう。

③ 防災情報の入手先を確認

▶危険が迫っている場合や、岡山市が避難を促す避難情報が発令された場合に、速やかに避難できるよう、スマートフォン、テレビ、ラジオなどから、防災情報を入手する方法を確認しておきましょう。

▶岡山市防災メールに登録しておきましょう。

メールアドレス：bousai.okayama-city@raidens3.ktaiwork.jp



■WEB版ハザードマップも活用しよう

WEB版ハザードマップでは、スマートフォンやタブレット端末の位置情報機能を活用することで、現在地周辺の詳細なハザード情報をはじめ、市内全域で開設している避難場所や、そこに至るまでのルートなどを確認できます。

また、土地勘のない方や外国の方でも、避難に必要な情報を容易に確認できるよう、日本語の他、英語・中国語・韓国語にも対応しております。

是非、ご活用いただきますようお願いいたします。

URL：<https://www.city.okayama.jp/0000047403.html>

